

第 1 回 鹿 児 島 県 IH ・ 国 体 指 名 強 化 審 判 研 修 会
参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	第74回 南九州四県対抗バスケットボール選手権大会 鹿児島県予選		
●日程	平成31年4月13日 (土) ~ 平成31年4月14日 (日)		
●会場	郡山体育館/いちき串木野市総合体育館		
●講師	小澤 勤様 福岡 敏徳様		
●スケジュール	平成31年4月13日 (土)		
	8:45 開講式 8:45 講師講話 9:30 実技開始 20:30 夕食懇親会		
	平成31年4月14日 (日)		
	8:45 講義 9:30 実技開始 最終ゲーム終了後 閉講式		
●担当試合	平成31年4月13日 (土) 11:00 ~		
	対戦カード	川内 VS 鳳凰	
	主審	CC:山中	U1:花谷 U2:向井
	講師／主任	CCの山中氏(A級)	
	講評	講師の方はいらっしゃらず、クレー間でのMTGでした。 U2の向井さんがC級で3POの経験も少ないということでしたが、丁寧にPGCで基礎を確認しあい、共通認識をもてたので、トラブルもなく、スムーズなゲーム運営ができたと思います。	
●担当試合	自己の感想	まず初めに、インターハイ、国体を控えた大切な時期にこのように大阪から派遣していただいたことに深くお礼申し上げます。このような機会を与えていただいたことに感謝し、今後も県内はもちろん、ブロックにも還元していけるように日々精進したいと思います。 鹿児島の方々の大会へ向けての熱意を感じ、また若手レフリーの方、そして女性レフリーの数も多く、色々と刺激を受けた2日間となりました。 失礼ながら、大阪の高校バスケットのレベルの高さ、同じ高校生でも体格の差、普段からそういったゲームに関われる恵まれた環境にいることも再認識致しました。	
	●担当試合	平成31年4月13日 (土) 14:00 ~	

	対戦カード	川内		VS		曾於	
	主審	CC:花谷		U1:松下		U2:初瀬	
	講師／主任	木葉様					
	講評	全体的に落ち着いてプレイをよくに見て捉えられている。 クルー間でボールサイドツォーが徹底されていたが、川内高校のバスケットスタイルを考えると、もう少しローテーションのタイミングが違った場面があったのではないかな。 (トップでボールを回していることが多いのでどういったタイミングでローテーションを行うのか。) リードでセットアップポジションにいる時間が長い(オープンとの使い分け) EOQの笛のタイミング					
	自己の感想	県外でCCとしてゲームに挑むことは初めてでしたが、初めての土地で、見ず知らずの人と吹くにあたり、やはりPGCの重要性は再認識致しました。当たり前だと思っていることでも、改めて声に出して共有すること、マニュアルにかかっている基礎の徹底がいかに大切かを感じました。基礎があつてこそですが、ゲーム中のメカニクスの修正など、CCとして声のかけかた、コミュニケーションは今後の課題として工夫していきたいと思いました。					
●担当試合	平成31年4月14日 (日) 9:30 ~						
	対戦カード	鹿児島女子		VS		川内	
	主審	CC:花谷		U1:村田(寛)		U2:千々岩	
	講師／主任	小澤様					
	講評	ゲーム自体がクリーンでファールの数も少ないからこそ、1つ1つの判定(吹いたもの、吹かなかったもの)がより際立ってくる。 映像もあるので、吹いていないもので残っているケースがあれば振り返ってほしい 千々岩さんと対照的で、トレイルの位置が低い。センターあたりまで下がってしまっているが、そこまで下がらずに、トレイルはもっとオープンにワイドに見て良い。 リードに入るのに、少し遅れているように感じるのはトレイルのレベルが低すぎるのが原因					
	自己の感想	映像で振り返りをした際に、トレイルのポジションはプレイに応じて使い分ける必要があると感じました。低すぎることで、判定に結びつかなかったケースがあったので、改善していきたいと思います。 最後になりましたが、この大会でお世話になって鹿児島県バスケットボール協会の皆様に心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。					